

お知らせ

夏季休診

令和4年8月15日(月)・16日(火)は夏季休診(お盆休み)です。

マイナンバー健康保険証

当院では、マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになりました。

すこやか健診

からだの状態を知るために、病気の早期発見のために、そして病気を予防するためにも、一年に一度はすこやか検診を受けましょう！



診察のご案内

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00	一診 伊藤 順	一診 伊藤 順	一診 伊藤 順	一診 伊藤 順	一診 伊藤 博	一診
	二診 表 和彦	二診 表 和彦	二診 表 和彦	二診 小林 博人	二診 伊藤 順	二診 伊藤 順
	三診	三診	三診	三診	三診	三診 表 和彦(第2休)
13:00	内視鏡 表 和彦	内視鏡 表 和彦	内視鏡 表 和彦	内視鏡 表 和彦	内視鏡 表 和彦	内視鏡 伊藤理(第2, 4休)
午後 14:00	一診 伊藤 順	一診 伊藤 順	一診 表 和彦	一診 伊藤 順	一診 伊藤 順	休診
	二診 表 和彦	二診 (表 和彦)	二診	二診	二診 (表 和彦)	
	三診	三診	三診	三診	三診	
18:00	内視鏡 表 和彦	内視鏡	内視鏡	内視鏡 表 和彦	内視鏡	

*胃カメラ・大腸カメラとも、月曜～土曜まで毎日検査が可能です。電話等によりお気軽にお問い合わせ下さい。

交通のご案内



- 北鉄バス
 - 片町(金劇バシオン前)下車 徒歩5分
 - 片町(片町きらら前)下車 徒歩10分
 - 野町・広小路下車 徒歩7分
- タクシー
 - JR金沢駅より10分

伊藤病院 日本医療機能評価機構認定病院
 〒920-0976 金沢市十三間町98
 Tel (076) 263-6351 Fax (076) 263-2526
 URL: <http://www.ito-hp.jp> Email: info@ito-hp.jp



編集 伊藤病院 広報委員会

清流

伊藤病院だより

清流

広報誌タイトルは伊藤博名誉院長みずからのネーミングによるもので、患者さま一人ひとりに対して職員全員が犀川の清き流れの如く澄んだ気持ちでおだやかに思いやりを持ちながら対応させて頂ければと考えております。



超音波機器が更新され新しくなりました



GE製 Versana Premier



今までより画像が鮮明となり、心臓・頸動脈・腹部・膀胱・下肢動静脈の超音波検査が更に正確に行えるようになりました。ご希望の方は、当院までご連絡下さい。



日本医療機能評価機構認定

第21巻3号

令和4年7月19日 発行

発刊所
 伊藤病院
 〒920-0976
 石川県金沢市十三間町98
 Tel (076) 263-6351
 Fax (076) 263-2526
<http://www.ito-hp.jp>

- 放射線科
- リハビリテーション科
- 内視鏡内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 泌尿器科
- 皮膚科

ニューフェイス

ひがし たかこ

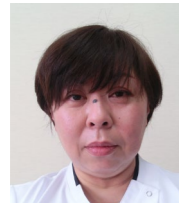
看護師 東 享子



この度、5月23日から伊藤病院スタッフ一員として病棟配属の東です。患者様を中心とし、そこを囲む他部門とも仲良く、チームとして良き看護をして行きます。また、よろしくお願ひ致します！

あいはら みめ

看護師 相原 美芽



5月16日より勤務しています。いつも笑顔で思いやりのある看護を心掛けています。よろしくお願ひ致します。

ひろた ちひろ

看護師 廣田 千尋



5月から病棟勤務となりました、看護師の廣田と申します。患者様の1日1日を大切に看護に努めます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

みずはら ゆみ

看護師 水原 有美



観光地の中にある病院という環境にひかれて就職しました。なれないことが多く、不安もありますが、1日も早く即戦力になれるように病棟看護師として頑張りますのでよろしくお願ひします。

おけさく なおこ

事務 桶作 直子



受付事務の職に就くことができ、毎日楽しく充実した気持ちで仕事に臨んでいます。まだまだ至らないことが多いですが、皆さまの教えと助けをいただいて、成長して行きたいと思っています。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

にしで あきこ

臨床検査技師 西出 有希子



主に検尿や血液の検査を行っています。正確で迅速な検査報告が出来るよう努めます。直接患者様に接する事は少ないですが、笑顔忘れず働きたいと思ひます。

水虫について



水虫はカビの一種、白癬(はくせん)菌が足の皮膚に侵入して発病する皮膚病です。足白癬といいます。疫学調査では日本人の5人に1人が足白癬です。この患者数は夏に増加して、冬に減少します。症状、診断、治療、日常の注意についてまとめました。

症状

足の指の間がふやけ、じゅくじゅくしたり、足の裏にかわむけ、みずぶくれが見られます。長く患うと皮膚が硬く厚くなります。

診断

病変の皮膚を顕微鏡検査して白癬菌を確認します。足の皮膚病は足白癬と紛らわしいものがあり菌を確認することは大切です。皮膚科受診で診察中に結果がわかります。

治療

白癬菌の増殖をとめる塗り薬を用います。クリーム、軟膏、液体のものがあります。1日1回、病変の範囲より広めに塗りましょう。時に塗り薬でかぶれることがあります。塗って悪くなるようでしたら中止して受診しましょう。

《 日常の注意 》

1. 治療していない足白癬の人が利用した足ふきマットには白癬菌が残っている可能性があります。次にマットを使う人は菌が付着して感染することがあります。家庭内の足ふきマットは共有せず、洗いましょう。また、家庭の床などは出来るだけ拭くか、掃除機で掃除しましょう。
2. 入浴は足の裏、指の間、爪の周りを石鹸でよく泡立て洗いましょう。
3. 靴、靴下は通気性のよいものを選びましょう。
4. 治療によりかゆみや皮膚症状がなくなっても皮膚の中に白癬菌が残っていることがあります。症状がなくなっても長めに治療を続けましょう。途中でやめると再発しやすいです。また、放置すると菌が爪の中にまで広がること(爪白癬)があります。

足白癬で気になる方は皮膚科を受診して治療を受けましょう。

伊藤病院皮膚科は毎週木曜日午前9時から午後1時まで診察を行っています。

皮膚科医師 小林 博人